



BCG ワクチンについての説明

静岡県立こども病院 予防接種センター

1) 結核菌感染症

結核は、結核菌の感染により引き起こされる感染症です。結核菌は結核患者から排出され、長く空気中に浮遊し、それを吸い込むと感染します。肺結核が最も多く、結核患者の約 80%を占めます。少数ながら、髄膜炎、胸膜炎、骨・関節結核、腎結核などもみられます。感染から発病までの期間は 1 年以内のことが多いですが、10～20 年のこともあります。抗菌薬で治療しますが、通常、6 か月以上の治療が必要です。

2) ワクチンの効果

BCG 接種は、結核性髄膜炎や粟粒結核など、乳児期の重篤な結核の予防には有効です。幼児期以降の肺結核に対する感染予防効果はありません。

3) ワクチンの特徴

牛型結核菌を弱毒化し、凍結乾燥した生ワクチンです。管針法で接種します。

4) 接種方法

1 歳未満の子どもに 1 回接種します。標準的な接種時期は、生後 5 か月から 8 か月未満です。

5) ワクチンの副反応

ときに局所の反応が強く、湿潤したり、びらんが生じたりすることもあります。局所の清潔を保てば多くは自然に治癒しますが、一部はのちにケロイドとなることがあります。長引く場合は抗菌薬を使用します。

接種後 1 か月前後から接種側の腋窩リンパ節が腫大することがあります。数か月の経過で徐々に縮小していきます。ごくまれに腫大したリンパ節が化膿し、皮膚に穿孔して排膿することがあります。

6) コッホ現症

接種後 1～10 日後に、接種部位に明らかな発赤・腫脹、針痕部位の化膿などが見られことがあり、コッホ現象と呼ばれます。この場合はすでに結核に感染している可能性が高いので、すみやかに接種医療機関で精密検査を受けてください。コッホ現象そのものは、局所を清潔に保つだけで通常は 2～3 週間でおさるので、特別な治療は不要です。

7) 接種上の注意点

○ツベルクリン反応は行わず、BCG ワクチンを接種します。

○生ワクチンですがガンマグロブリン(川崎病の治療などで使用されます)の投与に関係なく接種できます。